イントロダクション

・日商簿記３級の概要（詳しくは商工会議所へお問い合わせ下さい）

①　試験科目　商業簿記　３題以内

②　試験時間：60分

③　合格点：70%以上

④　試験形式：統一試験（紙試験）、ネット試験（CBT試験）

⑤　試験日：統一試験；2月第4日曜日、6月第2日曜日、11月第3日曜日
　　　　　　ネット試験；受験停止期間を除き、随時

⑥　筆記用具（統一試験）：ＨＢまたはＢの黒鉛筆、シャープペン、消しゴムに限る。

⑦　電卓、そろばん（ネット試験はそろばんの使用不可）の使用可。ただし、印刷（出力）機能、メロディー（音の出る）機能、プログラム機能、辞書機能（文字入力を含む）があるものは不可。日数計算、時間計算、換算、税計算、検算（音の出ないものに限る）はプログラム機能に該当しない。

⑧　ネット試験（CBT試験）の注意事項は商工会議所のサイトでご確認下さい。

・学習の仕方

統一試験（紙試験）を前提とした講義を行っています。ネット試験を考えている方も学習は紙を前提に行って下さい。

授業を受けていただき、授業の内容を理解することが大切です。授業を受けた後も、理解できるまでテキストを繰り返し読んで下さい。

また、簿記は授業を聴くだけでは身につきません。必ず、実際に自分で手を動かして問題を解くようにして下さい。まずは、テキストの例題を解けるようにして下さい。

自己学習用教材として、問題集を用意しています。テーマごとに問題を用意していますので、試験当日までこれらの問題を繰り返し解いて、簿記力を高めて下さい。

・重要性について

各論点ごとに「Ａ・Ｂ・Ｃ」

Ａ：試験に頻出している論点なので、必ずマスターすべき論点です。

Ｂ：最近の試験ではほとんど出題されていない論点ですが、それほど難易度が高くないため、時間がある方はマスターしてほしい論点です。

Ｃ：最近の試験ではほとんど出題されていない論点で、かつ、難易度も高い論点なので、ＡとＢの論点をマスターした方で、なお、時間がある方のみ学習すれば良い論点です。

簿記の基本原理①

簿記の意義

【重要性：A】

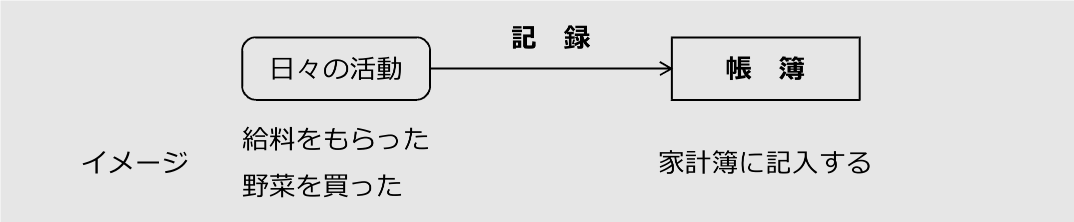
ＰＯＩＮＴ！

①　簿記とはどのようなことをするのか、イメージできるようにしよう！

②　２つの報告書を覚えよう！

（１）簿記とは？

お店や会社は日々の活動を記録・計算し、どのくらい儲かったのかや、どのくらい財産があるのかを明らかにする必要があります。この日々の活動を記録・計算し、報告する手続きを、**簿記**といいます。簿記とは「帳簿記入」を略した言葉といわれますが、お店や会社の日々の活動を、**帳簿**という書類（ノートをイメージして下さい）に記録します。

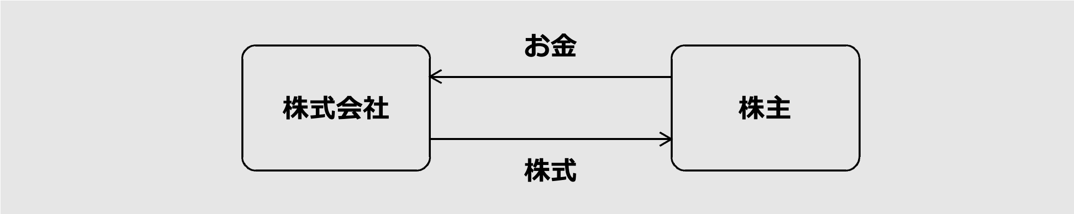


お店や会社の日々の活動を帳簿に記入することによって、お店や会社がいくら儲けたのか（これを**経営成績**といいます）、現金や商品、土地などの財産がいくらあるのか（これを**財政状態**といいます）を明らかにし、経営者や株主（出資者）、銀行、国（税務署）といった関係者に報告書を作成して報告します。

簿記は、会社、個人商店、自治体など様々な主体を対象に行われますが、日商簿記３級では、小規模な株式会社を前提とした簿記が出題されます。

（２）株式会社とは？

会社を設立し、経営活動を行うためには、元手となるお金が必要です。株式会社では、出資の単位を細分化し、多数の人々から元手となるお金を出資してもらいます。出資者は株主となり、一定の権利を行使することができます。このとき、株主の地位を「**株式**」といいます。



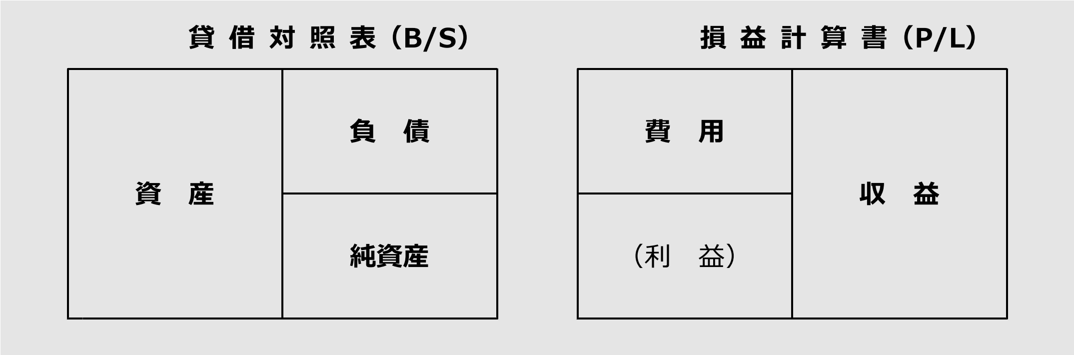
（３）報告書とは？

簿記で用いる報告書は**財務諸表**(ざいむしょひょう)といい、様々な種類がありますが、日商簿記３級で出題されるのは損益計算書(そんえきけいさんしょ)と貸借対照表(たいしゃくたいしょうひょう)です。

損益計算書とは、会社がどれくらい儲(もう)かったのかという**経営成績**を表す報告書です。一般に英語で、Profit and Loss Statement といいますので、**P/L（ピーエル）**と略します。

貸借対照表とは、会社が、現金や商品、土地といったモノをどれくらい持っているのか、銀行からどれくらいお金を借りているのかといった**財政状態**を表す報告書です。一般に英語で、Balance Sheet といいますので、**B/S（ビーエス）**と略します。

以下に、損益計算書と貸借対照表のイメージを記載しました。具体的な内容はこれから学習していきます。



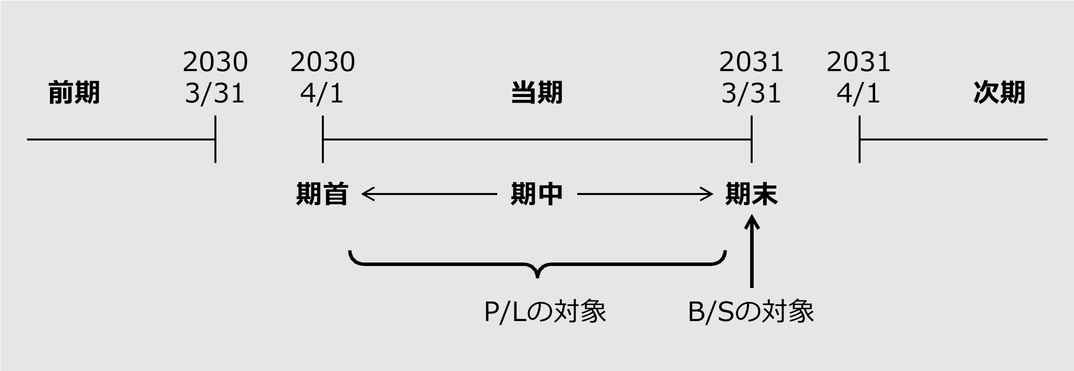
（４）会計期間

　簿記は、会社の活動を一定の期間に区切って、経営成績や財政状態を記録します。この一定の期間を**会計期間**（または、**会計年度**、**事業年度**）といいます。

　会計期間の始めを**期首**、会計期間の終わりを**期末**（または、**決算日**）、期首と期末の間を**期中**といいます。

　現在の会計期間を**当期**、当期より一つ前の会計期間を**前期**、当期より一つ後の会計期間を**次期**（または、**翌期**、**来期**）といいます。

　なお、株式会社は会計期間を自由に決めることができます。わが国では決算日が3月31日（これを**３月決算**といいます）の会社が多いので、日商簿記３級では3月決算の出題が基本となります。



（5）損益計算書と貸借対照表と会計期間の関係

　損益計算書（P/L）とは、**一会計期間**において、どれくらい儲かったのかという**経営成績**を表す報告書です。例えば、3月決算の会社における損益計算書は4月1日から翌年3月31日という**期間が対象**となります。

　貸借対照表（B/S）とは、**期末**において、現金、商品や土地といったモノがどれだけあるのか、銀行からどれだけお金を借りているのかといった**財政状態**を表す報告書です。例えば、3月決算の会社における貸借対照表は、期末である3月31日という**一時点が対象**となります。